「間伐・間伐材利用コンクール」応募申込書

～「市民参加の森林づくり」部門～

受付番号

ふ り が な	りんぎょうじょしかい あっとまーく とうきょう
氏　　名 （会社、団体名等）	林業女子会@東京
住　　所	〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-7　アルタ平河町ビル 2 階 TEL （ 080 ） 5174－2056　　FAX （　　）　　－

事項		活動の状況等			
活動を始めた動機・きっかけ		女性のパワーで森林・林業の業界を盛り上げたいと平成 22 年に立ちあがった林業女子会@京都に続き、東京でも首都圏のパワフルな林業女子４人が集まって平成 23 年に**林業女子会@東京**を結成した。現在、**次世代に豊かな緑と暮らしをつなぎたい**と熱い想いを持ったメンバー約 30 人で活動している。（平成 25 年 8 月末集計）			
活動内容		都内での森林・林業・木づかいについて語り合う定例会や勉強会に加え、平成 24 年 9 月より千葉県市原市に**フィールドを借りて、間伐、下草刈り、広葉樹の植栽などの森林の整備**を行っている。その他、森林整備に必要な道具の使い方を学ぶための講習会を開いたり、安全のためのＫＹ活動（危険予知活動）を行ったり、作業安全服の共同購入を企画したりしている。			
平成 25 年度活動計画		今年度は１回の間伐を行っているが、まだ本数密度が高く林内が暗いため、今年度の冬に再度間伐をする予定である。間伐以外では、季節に応じてコナラの植栽や下草刈りを実施してきた。木材利用の取り組みとしては 5～7 月にかけて間伐材を利用してベンチとテーブルをフィールド内に作成し、憩いの場を設けた。この憩いの場を利用して、10 月には森の音楽会を開催し、地元の方を森に招きたいと考えている。また、フィールド内の木を使ったバードコール作りのイベントを 10 月に企画している。フィールド活動と並行して、2 か月に 1 度は都内で定例会を開き、森づくり活動の内容・運営体制や安全対策についてメンバー間の情報共有を継続的に強化していく。			
実行体制・安全対策等		チェーンソーでの伐倒は安全講習を受けた者だけが担当し、チェーンソー使用時はチャップス（防護ズボン）着用を必須とする。またメンバーは林内作業に不慣れであるため、参加者が多い場合は班分けを行い、リーダーが班の安全に目を配るようにしている。さらに、毎回作業時には地元の森林ボランティア団体「ふれあい千葉」（歴 6 年）に技術指導や安全管理の補助をお願いしている。また、年１度は安全講習の機会を設けている。現在に至るまで幸い大きな事故はなく活動している。			
実績	除間伐	年　度	実施面積	実施回数	参加人数
		活動開始（平成２４年度）	1 ha	５回	述べ 22 人
	その他	昨年 10 月の活動は雨天のため、屋内で機械のメンテナンス（刈払機の刃の交換）を行った。今年 1 月は地元森林組合が講師となるチェーンソーの講習会に参加し、安全対策に努めた。3 月の活動では間伐したヒノキでベンチを作成した。			
他団体や地域との連携		安全管理、技術面においては、これらに精髄している地元ボランティア団体や森林組合の方々にご指導を頂きながら安全第一で活動する体制を組んでいる。また、地域の活性化に向けた取り組みとしては地元のお祭りへの参加、地元のボランティア団体と交流会、地元の宮大工さんの作った御宅訪問など、**地域の方と話す場を大切に**している。今後、地元で活動する団体との連携により、**地域の活性化**につながる取り組みに力をいれたい。			
写真					

※このままパネルに加工し展示しますので、１枚におさめて下さい。